

## 市の財政基盤強化へ向けて行政改革推進委員会が初会合



平成29年度第1回芦別市行政改革推進委員会が10月24日、市総合福祉センターで開催されました。

これは、将来的な市財政基盤を強化するため、まずは行財政改革の取り組みが必要なことから、平成30年度から5か年計画を策定するにあたり、広く市民の皆さんの

意見を聴こうと発足したもので、市内15団体の代表に一般公募、学識経験者を加えた17人で構成されています。

当日は委員長に芦別商工会議所の稲津寿一さんを選出。西村宣彦 北海学園大学教授が、行政改革の意義について講話を行いました。

## 栄町でハロウィンパーティー、子どもたちが仮装して商店街へ

10月28日、栄町ハロウィンパーティーが、芦別駅前商店街の同町内で開催されました。

これは、ハロウィンにちなんで、子どもたちに商店街などに親しみ、楽しんでもらおうと、栄町町内会と育成部が中心となって実行委員会をつくり、今年初めて開催したものです。

当日は、魔法使いやお化けの仮装をした約20人の子どもたちが参加。商店などを回り、「トリック、オア、トリート（お菓子をくれないと、いたずらしちゃうよ）」などと呼びかけ、袋いっぱいのお菓子をもらったり、ゲームをして遊んだりしながら、楽しい一日を過ごしていました。



## 上芦別町と頼城町に大規模太陽光発電所が完成



市内上芦別町と頼城町で昨年からの建設が行われていた太陽光（メガソーラー）発電所が完成し、11月17日、上芦別町の発電施設で竣工式が行われました。

太陽光発電事業を行うのは、東京都に本社があるリニューアルブル・ジャパン(株)で、市内で太陽光発電事業を行う事業者としては2

社目となります。

完成した太陽光発電所は、上芦別町と頼城町合わせて約9.5㊦の敷地に、積雪寒冷地用に改良した1万4,568枚のソーラーパネルを設置。年間発電量は約411万5千kwhで、一般家庭の年間電力使用量に換算すると930世帯分になります。

## フットサル大会に北海道内各地から約500人が参加して熱戦展開

石屋製菓白い恋人杯日刊スポーツ芦別少年フットサルフェスティバルが、11月18日と19日の2日間にわたって、総合体育館をメイン会場に市内で開催されました。

同大会は今年で25回目。本市では、一昨年からは毎年開催されています。

大会には、芦別サッカー少年団

のほか、札幌市や旭川市など全道各地から48チーム、男女合わせて約500人が参加しました。

初日は12のブロックに分かれての予選リーグ、2日目は決勝トーナメントが行われ、各会場では、白熱した試合が展開され、保護者などの大きな声援が飛び交っていました。

